

会社説明資料

～ 2021年3月期 第2四半期～

Yamagata

Miyagi



きらやか銀行



じもと
HOLDINGS



仙台銀行

2020年12月



じもと HOLDINGS

1. 2021年3月期第2四半期決算の状況

- ・じもとホールディングスの業績について … 1
- ・きらやか銀行の業績について … 2
- ・仙台銀行の業績について … 3

2. 仙台銀行の取り組みについて

- ・仙台銀行の経営戦略 … 4
- ・本業支援事例 … 5
- ・Withコロナの本業支援 … 6
- ・Sendai Big Advanceの展開 … 7
- ・行内業務効率化 … 8
- ・新店舗&リニューアルのご紹介 … 9
- ・仙台銀行のCSR① … 10
- ・仙台銀行のCSR② … 11

3. きらやか銀行の取り組みについて

- ・当行の想いをかたちにした新しいサービス
「共に生きるクラブ」設立 … 12
- ・本業支援の実績 … 13
- ・本業支援の取り組み事例 … 14
- ・財務の本業支援完了先への成長の為の本業支援 … 15
- ・福利厚生の本業支援(ふっくりパッケージ)の取り組み … 16
- ・共に生きるクラブ、きらやかアプリの運用開始 … 17
- ・本業支援の進化に向けて … 18

4. じもとホールディングスの取り組みについて

- ・中期経営計画（全体像） … 19
- ・顧客本位の本業支援（コロナ禍への対応） … 20
- ・顧客本位の本業支援（宮城と山形をつなぐ） … 21
- ・中期経営計画（主な取組み） … 22
- ・中期経営計画（計数計画と経営指標） … 23
- ・本業支援によるESG・SDGsへの取り組み … 24
- ・ガバナンスの強化（2020年6月移行） … 25

5. SBIホールディングス株式会社との 資本業務提携について

- ・資本業務提携の目的 … 26
- ・資本業務提携の概要 … 27
- ・SBIホールディングス株式会社、割当予定先の概要 … 28
- ・SBIグループとの主な連携実績 … 29
- ・今後の業務提携について … 30



1. 2021年3月期第2四半期 決算の状況

① 損益の状況

	2020年9月期	2019年9月期	前年同期比
連結経常収益	<u>213億29百万円</u>	196億92百万円	<u>16億37百万円</u>
経常利益	<u>14億19百万円</u>	9億48百万円	<u>4億70百万円</u>
親会社株主に帰属する 中間純利益	<u>64百万円</u>	7億11百万円	<u>△6億47百万円</u>

② 業績予想及び配当方針

	2021年3月期	(参考) 2020年3月期実績
経常利益	<u>△15億円</u>	25億71百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	<u>△30億円</u>	17億33百万円

基準日	中間	期末	年間
(参考) 2020年3月期	2円50銭	1円50銭	4円00銭
2021年3月期	1円50銭		-
(予想) 2021年3月期	-	<u>10円00銭</u>	-

※当社は、2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っており、年間配当合計は、単純合算ができないため、「-」と表示しております。
株式併合を考慮しない場合の2021年3月期（予想）の1株あたり期末配当金は1円00銭となり、1株あたり年間配当金は2円50銭となります。

- じもとホールディングスの2021年3月期通期の連結業績予想は、経常利益△15億円、親会社株主に帰属する当期純利益△30億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2021年3月期の中間配当金は、1株あたり1円50銭をお支払いいたします。
また、期末配当金は、通期業績予想を踏まえ、1株あたり10円（株式併合を考慮しない場合の1株あたり配当金は1円）を予定しております。

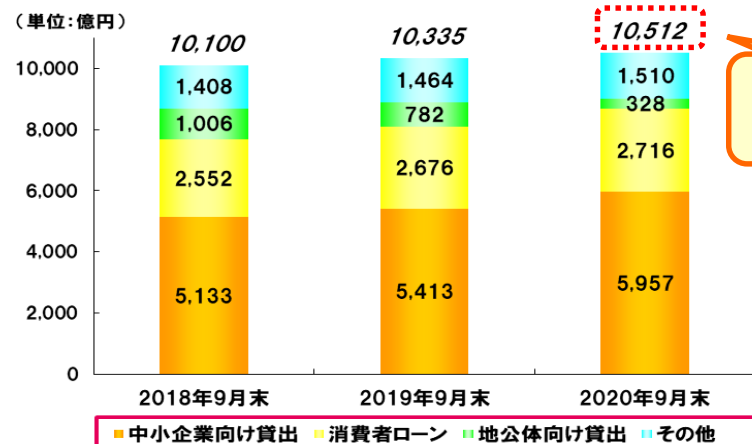
きらやか銀行の業績について

① 損益の状況

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	前年同期比
経常収益	108億92百万円	97億82百万円	105億41百万円	7億58百万円
コア業務純益	14億56百万円	11億31百万円	26億21百万円	14億89百万円
経常利益	13億49百万円	6億22百万円	5億69百万円	△53百万円
中間純利益	9億1百万円	5億40百万円	△5億25百万円	△10億66百万円

- コア業務純益は、資金利益が増加したことに加えて、経費が前年同期比で3億89百万円減少したことなどから、前年同期比14億89百万円増加の26億21百万円となりました。
- 中間純利益は前年同期比10億66百万円減少し、5億25百万円の赤字となりました。

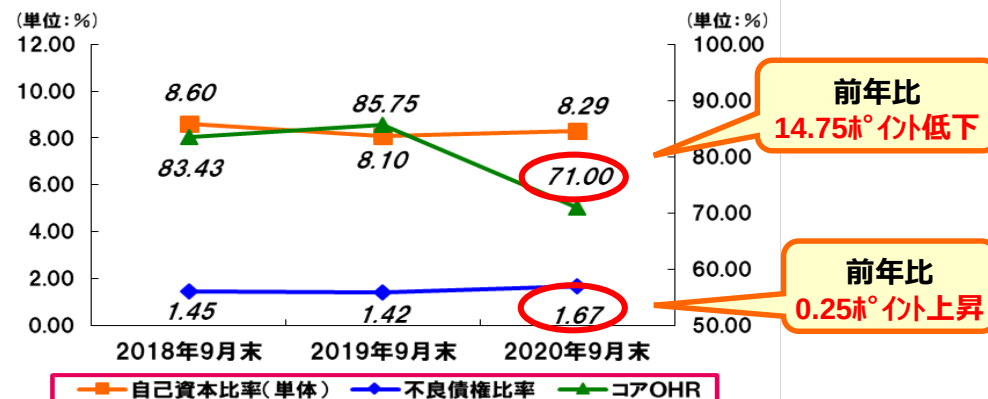
③ 貸出金の状況



前年比
176億円増加

- 貸出金残高は、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したことなどから、2019年9月末比176億96百万円増加の1兆512億89百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援や新型コロナウイルス関連の資金需要に対応したことなどから、2019年9月末比543億93百万円増加の5,957億11百万円となりました。

② 主な経営指標

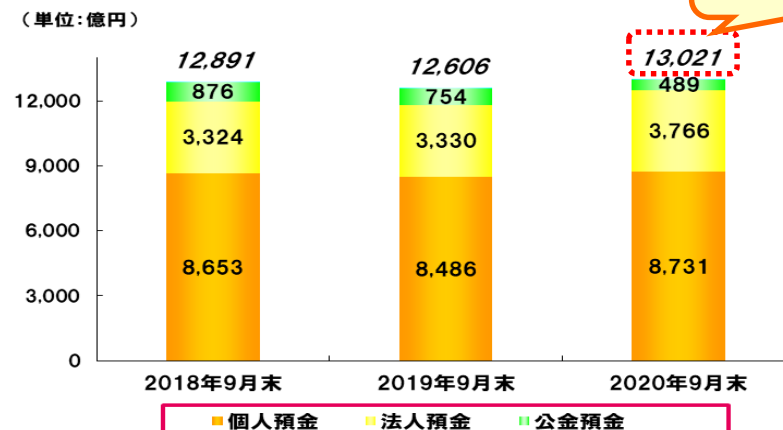


前年比
14.75ポイント低下

前年比
0.25ポイント上昇

- 単体の自己資本比率は、リスクアセット(分母)が減少したことなどから、2019年9月末比0.19ポイント上昇し8.29%となりました。
- 不良債権比率は、2019年9月末比0.25ポイント上昇し1.67%となりました。

④ 預金の状況



前年比
414億円増加

- 預金残高は、2019年9月末比414億80百万円増加の1兆3,021億52百万円となりました。
- 法人預金は、新型コロナウイルスの影響により手元資金を確保する動きが見られたことなどから、2019年9月末比436億43百万円増加の3,766億51百万円となりました。

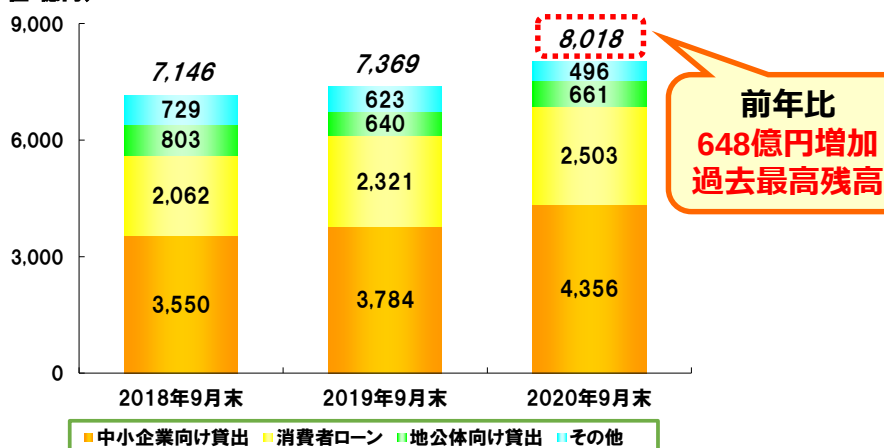
① 損益の状況

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	前年同期比
経常収益	81億88百万円	75億51百万円	82億2百万円	6億51百万円
コア業務純益	8億6百万円	6億57百万円	11億34百万円	4億76百万円
経常利益	8億67百万円	5億82百万円	9億1百万円	3億18百万円
中間純利益	7億41百万円	4億40百万円	7億49百万円	3億8百万円

- コア業務純益は、貸出金利息の増加等により資金利益が増加したことに加え、経費が減少したことなどから、前年同期比4億76百万円増加の11億34百万円となりました。
- 中間純利益は前年同期比3億8百万円増加の7億49百万円となりました。

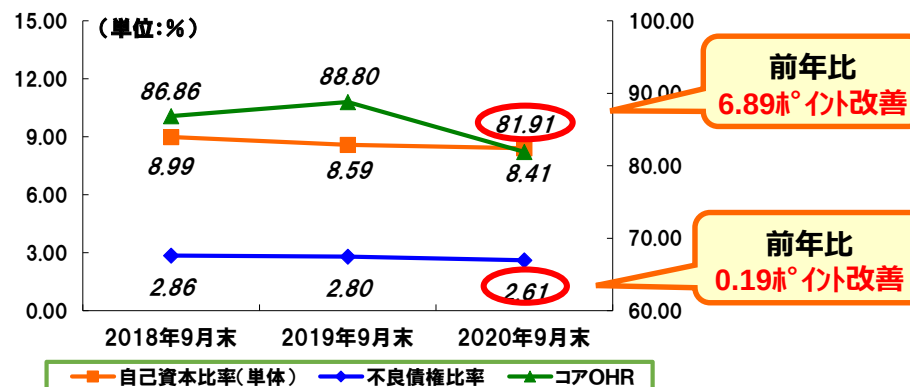
③ 貸出金の状況

(単位:億円)



- 貸出金残高は、2019年9月末比648億32百万円増加の8,018億21百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。
- 中小企業向け貸出は、新型コロナウイルス感染症関連の資金需要へ積極的に対応したことから、2019年9月末比572億58百万円増加の4,356億64百万円となりました。

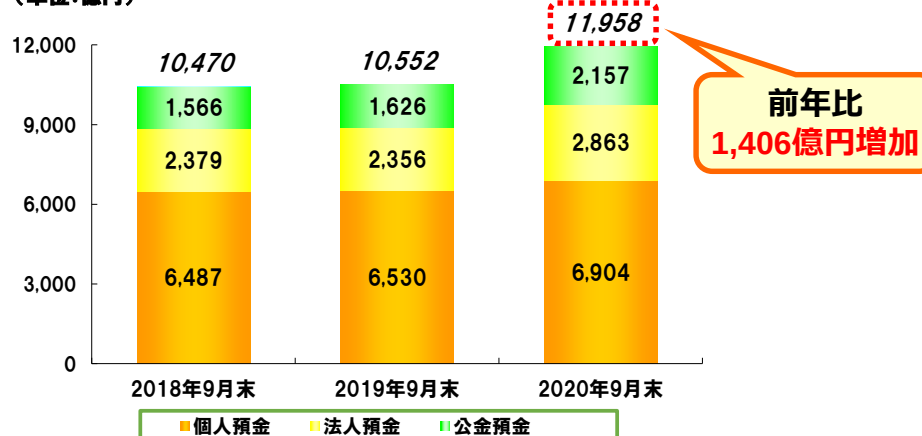
② 主な経営指標



- 単体の自己資本比率は、貸出金残高の増加などに伴いリスクアセット(分母)が増加したことから、前年同月末比0.18ポイント低下の8.41%となりました。
- 不良債権比率は、前年同月末比0.19ポイント改善し、2.61%となりました。

④ 預金の状況

(単位:億円)



- 預金残高は、2019年9月末比1,406億22百万円増加の1兆1,958億99百万円となりました。
- 法人預金は、2019年9月末比507億31百万円増加の2,863億60百万円、個人預金は、374億50百万円増加の6,904億78百万円となりました。

2. 仙台銀行の取り組みについて

仙台銀行の経営戦略

「人で勝負する銀行」を発展させ、本業支援を通して、
地元の復興ならびに地域経済の発展と活性化に貢献する

効率化・選択と集中

- マーケットを睨んだ店舗戦略
- 業務効率化
- 人員の適正配置

新分野への取り組み

- Sendai Big Advanceの展開
- 仙台銀キャピタル&コンサルティングとの連携強化
- IT・FinTechの活用

中小企業向けを軸とした貸出増強

- コア戦略の拡充・推進
- 本業支援と最適提案
- お客さまへの伴走型支援

※コア戦略とは、既存先の取引深化と事業債務者数の増加をめざす戦略

本業支援事例～高い環境効果と地域経済の発展を支援～



宮城県大崎市岩出山の農地を有効活用し、太陽光発電事業と牧草等の農作物栽培を両立するメガソーラーシェアリング事業に対し、資金支援を行いました。

仙台銀行の本業支援

- ① プロジェクトの組成
- ② 構成各社並びに土業者との連携・調整
- ③ 事業性評価による資金支援

本業支援

大崎エナジー有限責任事業組合

株式会社NSエナジー
株式会社仙台青葉会
ブルームビルド株式会社

※完成イメージ



営農委託

地元農業法人

電力販売

電力会社

農作物販売

地元酪農業者等

プロジェクトのポイント

高い環境効果と地域経済の発展

- ① 再生可能エネルギー普及でCO₂削減
- ② エネルギーと農作物の安定供給
- ③ 地域への収益還元、地域活性化
- ④ 地元企業の「**チャレンジ**」支援

オール宮城の取り組み

- ① 工事の施工から栽培した農作物の販売まで**全工程を地元事業者が担当**
- ② 地域金融機関である当行単独で資金支援

⇒全国的にも珍しい事例

仙台銀行は相談してから回答までの**スピードが速く**担当者の**熱意**が感じられました。

株式会社NSエナジー（株式会社日昇工業）
代表取締役 日野 修一郎 様



仙台銀行**単独**での実行には驚きました。
そのおかげで**スムーズ**に進めることができました。

株式会社仙台青葉会 代表取締役 石月 正美 様

メインバンクとして**一歩踏み込んだ提案**でした。
今後も一緒に成長していければと思います。

ブルームビルド株式会社 代表取締役 小関 朋宏 様



Withコロナの本業支援

新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けられたお取引先企業さまを支援するため、適時適切にご融資、返済猶予等の既往債務の条件変更など、取引先の状況に柔軟に対応しております。事業の維持・成長をサポートするため経営改善支援にも積極的に取り組みます。

主な取り組み

- ✓ 本業支援ヒアリングの実施およびヒアリングに基づく経営改善支援の実施
- ✓ 経費削減・効率化・IT化へのニーズに対応した業務提携先紹介
- ✓ 地元活性化応援ローンの取扱い～事業承継に特化～
- ✓ SBC主催「次世代経営塾」特別企画セミナー（オンライン）※仙台銀行ビジネスクラブ
- ✓ SBC主催「中堅社員向け ロジカルシンキング研修」（オンライン）



宮城県内のお取引先飲食店応援企画

133
店舗分
掲載



【WEB版】 仙台銀行 テイクアウト&デリバリーガイド



WEB版は
こちらから

苦境の飲食業界の力になりたい！若手職員が企画・制作しました。お持ち帰りや配達が可能なお取引先をご紹介します。当行職員も利用しています。ぜひガイドをご利用ください!!

本業支援プラットフォーム Sendai Big Advance

BigAdvance 加盟金融機関 & 会員 増加中

- ✓ 加盟金融機関**50**以上、会員数は**全国31,200社**以上
- ✓ ユーザー数（従業員含む）**67,000人**以上
- ✓ ホームページ作成**4,000社**以上
- ✓ 「商談依頼」は約1,500件/月（全体）⇒ **金融機関を跨いだ商談が半数以上！**



ビジネスマッチング（商談）のポイント

- ✓ お相手も取引金融機関経由の入会企業なので安心
- ✓ 事業内容を事前に把握できて**商流イメージがつかみやすい**

仙台銀行お取引企業
会員数**1,000社**突破！
お客さまのニーズに
合わせて機能や使い方を
ご紹介いたします



栃木銀行・東和銀行・長野銀行・仙台銀行
4行共催「食」をテーマとした商談会を開催。

スマホアプリ登場！！



チャット機能

コミュニケーションの活性化！

安否確認システム

緊急時の状況確認が容易に！！

福利厚生(FUKURI)

クーポン利用が便利に！！！！

行内業務効率化で働き方改革

リモート・オンライン研修実施

- ✓ 行内研修・会議をオンラインで実施
⇒ **業務効率化・コスト削減**
- ✓ **新型コロナウイルス感染拡大防止**



業務のデジタル化

- ✓ システム構築基盤を活用し、行内業務アプリを開発
 - ① 会議資料の電子化拡大
 - ② 総務諸届申請のワークフロー化
 - ③ 行内稟議回付のワークフロー化⇒ **意思決定の迅速化、文書管理の合理化、ペーパーレス化**



開発会議の様子

電子契約の展開

- ✓ 住宅ローンの取扱いで電子契約を順次展開
- ✓ 本部の専門部署と営業店の連携 ⇒ 営業店業務の効率化
- ✓ お客さまの手続き負担軽減 ⇒ 顧客利便性向上

新店舗&リニューアルのご紹介

仙台銀行SBIマネープラザ石巻オープン

2020年10月2日より、中里支店内において「仙台銀行SBIマネープラザ石巻」の営業を開始しました。
より幅広いお客さまへ金融コンサルティングサービスのご提供が可能となりました。



白石支店リニューアルオープン

2020年10月12日より、白石支店の新店舗での営業を開始いたしました。
新店舗は白石の街並みに調和する白を基調とした木造平屋で、店内は木のぬくもりが感じられる空間となっております。



仙台銀行のCSR ～よりよい社会のために～

仙台銀行は、働き甲斐があって働きやすい職場環境づくりを目指して、ワーク・ライフ・バランスを推進しています。

働き方実践企業&えるぼし（2つ星）に認定

当行の働き方改革に関わる取り組みが宮城県より認められ「みやぎ働き方改革実践企業」として認証を受けました。
また、女性活躍推進法に係る取り組みが宮城労働局より認められ「えるぼし認定（2つ星）」を受けました。



えるぼし認定式

女性活躍推進ワーキング会議開催

＜2020年10月 きらやか銀行と合同開催＞

女性活躍推進に向け、「女性管理職育成」並びに“仕事とプライベートの両立”を目指す「キャリア形成意識の醸成」について協議しました。本会議は、今年で6回目となります。



仙台銀行のCSR ～地域のために～

公益信託仙台銀行まちづくり基金

本基金は、公益信託による基金であり、第28回目の2019年度は東日本大震災からの地域復興やまちづくりに取り組む宮城県内の団体等22先に、総額287万円を助成をしました。



助成金贈呈式の様子



助成先の作品を営業店のロビーに展示してご紹介
(2020年8月 荒井支店)

仙台銀行ホール イズミティ21 各種コンサートへの協賛

当施設での開催イベントの協賛等を通じ仙台市と連携を図りながら、地域の皆さまの文化活動を支援しています。

2020年11月にはロビーコンサートが開催されました。「イズミノオト」シリーズへも引き続き協賛しています。



ロビーコンサートの様子



3. きらやか銀行の取り組みについて

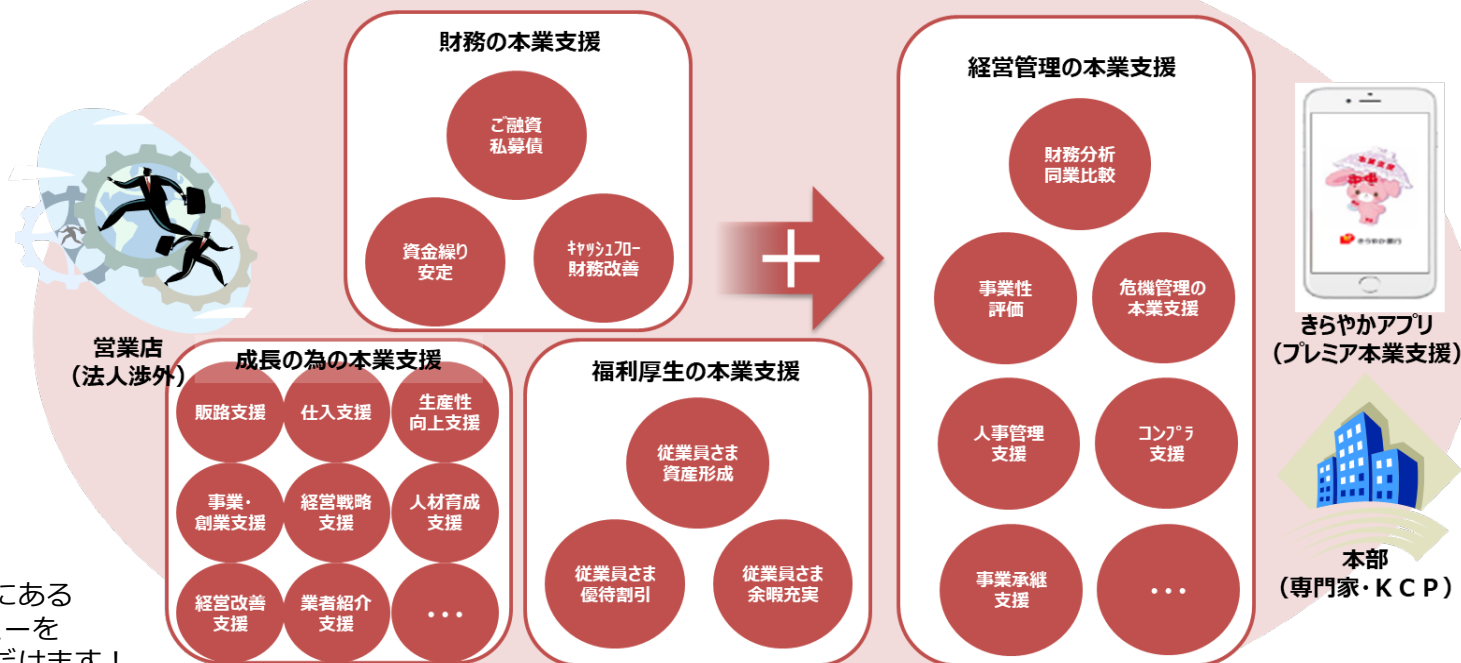
経営理念 = "私たちの想い"

本業支援を通して
地元の「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から
喜んでいただき地域と共に生きること。

2020年10月

共に生きるクラブ設立

経営者の皆さまにとことん寄り添い
時には議論を交わしながら一緒に考えることで
“孤独”や“不安”を解消し
成長していただくことを目的としたクラブです！



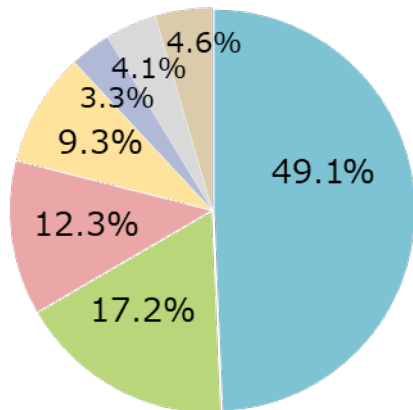
プラットフォームにある
本業支援メニューを
いつでもご利用いただけます！

<本業支援の実績>

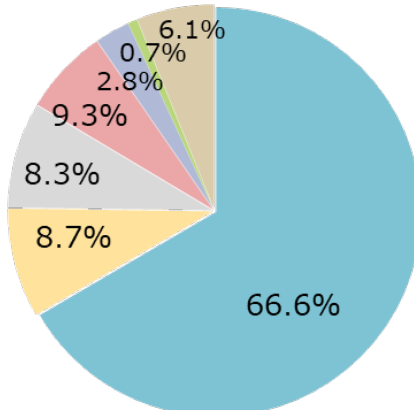
「アクティブリスニング」によりお客さまのニーズをキャッチし本業支援に繋げております！

項 目	2019年9月期	2020年9月期	前年度比
本業支援成約先数	2,157 先	2,392 先	+235 先
本業支援成約件数	2,641 件	2,971 件	+330 件
お客さまからのニーズ件数	3,268 件	5,480 件	+2,212 件
財務の本業支援成約先数	1,297 先	1,620 先	+323 先
成長の為の本業支援成約先数	609 先	480 先	△129 先
福利厚生の本業支援契約先数(累計)	841 先	1,269 先	+428 先

<本業支援の主な内容>



2019年9月期



2020年9月期

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、取引先企業からの「財務の本業支援」のニーズが増加したことを受け、金融仲介機能の発揮に注力した結果、本業支援の構成割合は左記のグラフの通りとなりました。

- 財務の本業支援
- 販路支援
- 専門家紹介
- 福利厚生支援
- 仕入支援
- 経費削減・効率化支援
- その他

※総数：2020年9月期成約件数＝2,971件

当行で特別な研修を受けた「経営財務コンサルタント」、通称“**ともコン**”がお手伝いいたします。

事例紹介

新事業をスタート、事業計画作成から開業まで「ともコン」と歩んだ！



工藤建築有限会社 様（建築工事業）

- ・1971年創業、迅速・丁寧で信頼が厚く、技術力に定評があり湯野浜地区で8割以上の案件を受注。
- ・社長様は当地区で商工会長も担う。

社長様の想い

湯野浜地区初のコインランドリー開業で観光地としての利便性を高め、当地区を活性化させたい！

財務の本業支援

業種特性上、立替払いが多くなることを踏まえ、資金対応を行うと共に法人カードも活用。手許資金確保と資金繰管理の簡素化を行い、本業に専念できる体制を整備。

成長の為の本業支援

●売上拡大支援

湯野浜周辺地域のお客さまや外注先を紹介し、継続して売上拡大をサポート。

●新事業の開業を検討

担当者はコインランドリー事業を扱う当行業務提携先の研修を受講し、本格的に新事業開業の検討を開始。

コインランドリー開店！



<その他当行でお手伝いしたこと>

- 開業にあたり資金対応
- 自動販売機のビジネスマッチング
- コインランドリーの電気代削減 他

事業計画書の作成

建築工事業・コインランドリーの両事業を安定的に成長させるべくともコン担当者と協議を重ね作成。



ともコンと
将来像を共有！



代表取締役 工藤 裕介 様

私の父が会社を立ち上げた時代から、きらやか銀行にはお世話になっております。資金面だけでなく、事業全般に幅広く支援いただいております。ともコンとやり取りをする中で、数字に関しての意識も身に付きました。地元湯野浜地区の更なる活性化に向けてこれからも真摯に仕事を行っていきたいと思います。

計画達成に向け本業支援を継続中！

例えば…「人事労務」に関するお手伝い

- 当行子会社のきらやかコンサルティング＆パートナーズを通じて社労士をご紹介し、**就業規則を新設**。その後社員を雇用し、作成した就業規則を活用いただいている。
- 「**ふっくいパッケージ**」で福利厚生体制を整え、会社の魅力を更にUP！

新型コロナで“温泉県山形”への観光客が減少 1先ごとにお話を伺い、チームでお手伝い！

(有)蔵王サンハイム様の事例

当社は蔵王温泉地区で宿泊、レストラン、日帰り入浴等の複合施設（ZAOセンタープラザ）を運営されています。

コロナ禍で宿泊客数は前年より大幅に減少。
本業支援緊急対策室のメンバーが当社の強み・経営課題を踏まえ、
新たな顧客開拓に向けた本業支援を実施しています！

泊まり込みでの現地調査を実施

＜主に実施したこと＞

- ① 役員の皆さまとの意見交換
- ② 従業員さまへのヒアリング
- ③ 各施設・部門の課題抽出

強み・課題を洗い出し
(同社多目的ホールにて)



そこから見えてきた **改善の方向性**

地元日帰り顧客の更なる強化

(もともと日帰りに対応できる施設あり)

↓
他県からの宿泊客減少をカバー

改善の方向性に沿った提案を実行！

- ✓ 温泉街の中心地に立地し大駐車場がある強みを活かし、日帰り部門を強化
- ✓ 地元向けに昼食と日帰り入浴をセットにしたお得な「ランチセット」を販売

レストランの売上増加に寄与すると共に、併設する売店の売上も増加。

→現在、更なる日帰り顧客の増加を目指し、売店の目玉商品開発を企画・ご提案中です！

人気の天ぷら板そばと
日帰り入浴をセットに！



「ふっくりパッケージ」の概要

① 会員限定資産形成サービス

お預入やお借入の面で特別金利をご提供

1 普通預金の100倍の金利※の「ふっくり口座」をご利用いただけます！ ※2020年9月末日時点で年0.100%の金利

2 当行 A T M の時間外手数料が無料になります！

口座開設数
2019年3月末
～2020年9月末
30.2倍

② 会員限定優待サービス

「食」「暮らし」「癒し」をテーマにした「割引クーポン」を贈呈

③ 会員限定体験サービス

各種イベントにご招待

② ふっくりパスポートがアプリに入って
「ふっくりクーポン」になります♪



Bonbonribbon

©2012, 2020 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L617368

10月にリリースした「きらやかアプリ（後述）」に当行お取引先企業のご優待情報が詰まった「ふっくりクーポン」を掲載しております。お得なクーポンを、より「便利に」ご利用いただけます！

③ 会員限定体験サービスをオンラインで展開！ ～学びの要素を取り入れたオンラインサロン～

第1弾は当行人事課の研修担当者による「ビジネスマナー講座～応接の基本～」、第2弾は同じくシステム担当者による「Excel使い方の改革！効果的にExcelを使う方法」を開催しました。

第1弾



当行人事課の研修担当者が
ビジネスマナーを解説

第2弾



当行システム担当者が
Excelのいろはを解説

合計

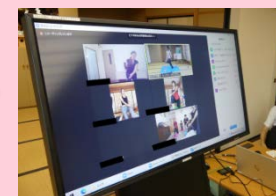
116名にご参加
いただきました！

受講者の皆さまの声

- ・コロナ禍で様々な講習が中止になるなか開催してくださり非常にありがたく、勉強になりました。（20代男性）
- ・リアルタイムでクイズに回答するなど、参加型のセミナーで入りやすかったです。画面越しでも講師の声、表情が分かりやすかったです。（20代女性）
- ・応用編も学びたいと思いました。（40代男性）

オンラインで体験イベント

オンライン開催の
「美Body Making ON-LINE
ヨガ&ピラティス」
も好評でした★



共に生きるクラブ 会員の皆さまへの特別なサービス

経営管理の本業支援

「事業性評価シート」や「財務比率表」の提供により、会員の皆さまの「強み」や「課題」を共有させていただきます。

～ご利用者さまの声～

当社では、自社の経営状況や弱み、今後の方向性の把握が難しいと常日頃考えていました。

また幹部候補である各部門リーダーが経営の目線を持つための育成方法も課題と認識しており「共に生きるクラブ」を通じて当社の課題解決に向かえればと期待しています。



プレミア本業支援

当行が有するノウハウや、オンラインシステム等を活用したコンサルタント・専門家による研修、相談等に対応します。

きらやか情報ステーション セミナー・オンデマンド

人事労務、人材育成、業界動向、会計、税務、法務、営業、朝礼スピーチ例など、1,000本のコンテンツ、厳選された講師陣によるオリジナルの動画コンテンツを閲覧・視聴できます。

きらやかアプリ ※特許出願中

当行の本業支援を「いつでも」「どこでも」利用できる、コミュニケーションのためのアプリです。



※ご利用にはID・パスワードが必要です。

ビジネス情報、人材紹介

当行お取引先の事業ニーズや人材紹介業者の求職者情報への紹介リクエストが可能です。

コンシェルジュ

経営に役立つ情報の案内や動画等を配信します。
アプリ利用者の方がボタンで回答することができます。

＜その他の機能＞

- ◆通知
- ◆各種コンテンツへのリンク
 - きらやか銀行HP
 - マイネットバンキング
 - 個人資産管理アプリ「Moneytree」

コンシェルジュでは、毎日異なる情報を配信します。
時にはおもしろ動画も!?
是非、チェックしてみてください!



本業支援業の“完成”
に向けて取り組みます

10月
取扱開始！

2020年度～

共に生きるクラブ

経営管理の本業支援

当行独自！
本業支援アプリの提供

+

女性法人渉外
担当者の増員

人材紹介業

本業支援緊急対策室
(コロナに関する支援)

2018年度～

アクティブ
リスニングの徹底

情報トレーダーの増員
(情報集約・仕分・指示・サポート)

福利厚生の本業支援
(ふっくりパッケージ)

職域担当者の増員

あんしん経営サービス

2016年度～

従業員さまの
資産形成のお手伝い

コンサルティング
子会社の設立

銀行本体での
リース業務開始

2015年度～

財務の
本業支援

成長の為の
本業支援

店舗戦略

～2015年

継続的
組織的活動

営業体制見直し
(法人力強化)

専門家集団の創設

情報トレーダー配置

“私たちの想い”の実現

2009年本業支援START！

ア ク テ ィ ブ リ ス ニ ン グ

未来

4. じもとホールディングスの取り組みについて

Key Word

顧客本位の本業支援

統合効果発揮

我々は“なぜ”
「本業支援」に取り組むのか？

- 必要とする支援を受けられていない
中小企業の皆さまの力となるため
- 地元の復興ならびに地方創生に貢献するため

＜目指す姿＞

- 「本業支援」でお客様の喜びと成長を通じて、地域経済の発展・地方創生に貢献していく
- グループの統合効果を最大限に発揮し、地元の復興の一助となる
- グループの収益確保と財務の健全性確保に努め、安定した顧客基盤、収益基盤を確立する

きらやか銀行

仙台銀行

中期経営計画の柱

計画期間

2018年4月～2021年3月

未曾有のコロナ禍「今こそ、本業支援！」

＜持続可能なビジネスモデルの確立＞～「本業支援」を核とする～

① 中小企業成長戦略

- 本業支援を真に必要としているお客様のもとへ足を運び、寄り添う
- お客様の成長と喜びを通して地域経済の発展と地方創生に貢献

② 非金利収入増加戦略

- 企業の経営戦略サポート、コンサルビジネスの強化

③ 仙台地区営業戦略の強化

- じもとグループのノウハウ、情報を活かした仙台地区営業強化と顧客基盤構築

＜効率化・合理化＞ ～ グループ業務運営態勢再構築 ～

① 本部組織の抜本的見直し、店舗網見直し等

- グループ全体で組織・業務運営態勢の更なる効率化・合理化

② 事務集中業務の集約化

- 更なるシナジー効果の発揮

＜ガバナンスの強化＞

① グループ経営態勢の見直し

- HDの更なるガバナンス強化
- 本部組織の統一・再編

「いまこそ本業支援」コロナ資金繰り支援に積極対応

1. グループの体制

＜本部体制＞

各行に対策本部を設置し、お客さまの資金繰り支援を最優先に対応

きらやか銀行：本業支援緊急対策室

仙台銀行：新型コロナウイルス感染症関連

地元企業支援対策本部

- ・お客さまへの影響調査・分析、資金繰り支援の実施
- ・HD、各子銀行取締役会で、影響状況を踏まえた対応協議

＜お客さまの相談体制＞

平日の相談対応に加え、休日電話相談窓口も設置し、お客さまのコロナ対応を支援

- ・資金繰り最優先の対応
- ・人事労務等の相談機会提供
- ・販路確保、事業計画立案など

＜業務継続体制＞

営業店、本部の業務継続に向けて、感染リスク低減に繋がる体制を導入

- ・営業店職員の交替勤務、昼休み時間導入
- ・在宅勤務、執務室分離
- ・テレビ会議システムの機能向上など

2. お客さまの資金繰り対応

＜コロナ関連融資への取組み状況＞

コロナ禍の中、本業支援を通してお客さまの資金繰り対応に最優先で取組み、両行で、5,417件1,323億円を実行しました。

（単位：億円）

	件数	金額
両行合計	5,417	1,323
プロパー	199	171
保証付	5,218	1,152
条件変更	559	186

※参考：融資量・貸出金利息の状況

積極的なコロナ資金対応もあり、両行の融資量は前年を大きく上回り、貸出金利息も増加しました。

（単位：億円）

	貸出金平残			貸出金利息		
	2019 上期	2020 上期	前年比	2019 上期	2020 上期	前年比
両行合計	17,350	18,044	+694	108.1	111.3	+3.1

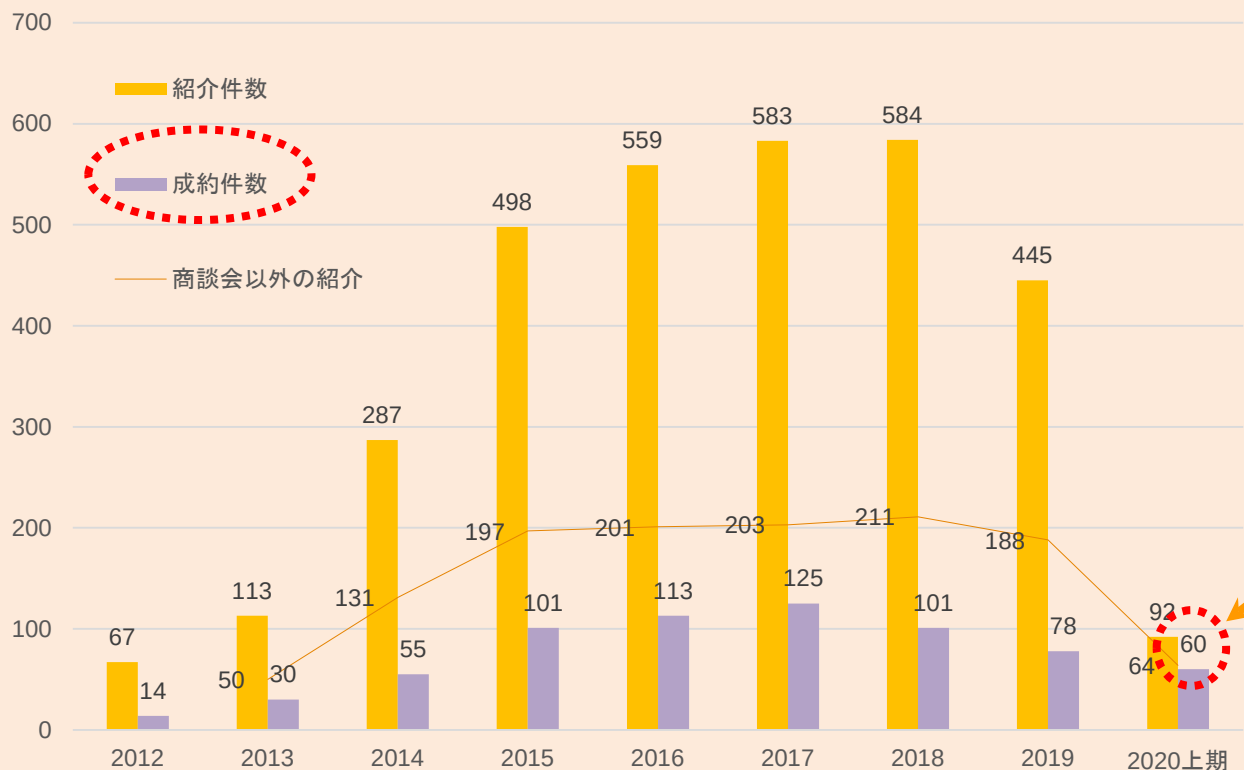
じもとグループの「**宮城と山形をつなぐ**」取り組みは、お客さまへの本業支援だけでなく、コロナウイルス感染防止にも寄与

宮城と山形をつなぐ!

県境を越えたビジネスマッチングの実績

組織的な本業支援の更なる強化 県境を越えた情報の集約と提供

紹介件数（累計）：**3,200件超**



下期は、コロナ禍の中長期的な影響を踏まえ、地元中小企業の経営改善支援に更に取組んでまいります。

東北と東京圏をつなぐ

東京きらぼしFGとの実績

2017年度～ 2020年度上期 累計実績	紹介件数	成約件数
	134件	26件

グループの強み

- 組織的・継続的な本業支援
- 外部連携による多彩な展開

コロナ関連マッチングが牽引！

- コロナ禍で商談会が開催できず紹介件数は減少。一方で、**コロナ関連のマッチング（感染防止商品等）が牽引し、成約は半期で60件（前年上期比+34件）**となり、コロナウイルス感染防止にも寄与しました。

<2020上期の両行間マッチング>

	紹介件数		成約	前年比
	紹介件数	前年比		
両行間 マッチング	92件	▲75件	60件	+34件
うち商談会	28件	▲79件	7件	▲1件

持続可能な
ビジネスモデルの確立
～「本業支援」を核とする～

効率化・合理化
～グループ業務運営態勢再構築～

ガバナンス態勢の強化

2020年度上期の取り組み

■中小企業成長戦略の深化

◎仙台地区営業戦略の強化：グループの最重点エリア仙台地区で、コロナ禍に係る資金繰り支援をはじめとした取り組み進展

中小企業貸出	2020/9月末 貸出残高	前年上期比	新規融資先数	2020上期	前年上期比
仙台地区 (全地区合計)	4,480億円	+529億円 ※増加率13.4%	じもと合計	637先	+189先

■非金利収入増加

◎私募債、業務提携先紹介、福利厚生サービス等で法人向手数料が前年比98百万円増加

■営業店業務の効率化

◎両行ノウハウ共有によるペーパーレス化、本部集中化、各種手続きの簡素化
<取組事例>

投信システム入替(年間4.4百万円、742時間削減見込)、社宅料支払本部集中(年間3,000件弱)、営業店の申請・報告廃止(年間約120件)等

■店舗戦略・人員の適正化・再配置

◎5年後、10年後を見据えた店舗戦略の協議、業務効率化による人員の適正化・営業担当への再配置、若手・女性行員の融資渉外力向上へ研修・OJT

■WEB会議システムの利用拡大

◎グループの本部・営業店での会議・研修、外部との協議等でWEB会議を拡大

■子銀行の監査等委員会設置会社移行

◎6月に子銀行が監査等委員会移行し、じもとHDと子銀行の機関設計を統一

- ・両子銀行の社外取締役が合計2名から6名となりガバナンス態勢強化
- ・取締役会から経営会議へ権限移譲し取締役会活性化
- ・両子銀行監査部と監査等委員会の連携体制を構築し、グループ監査体制を強化
- ・きらやか銀行の社外取締役追加(12月1日就任)によるガバナンス態勢強化

＜2021年9月期（中間期）の実績：2行合算＞

中小企業向け貸出金増加や経費削減により、**計数計画 4項目が達成水準で推移**。

	2020年9月期（中間期）	2021年3月期	
	実績	計数計画	計画比
コア業務純益	37億円	62億円	△24億円
当期純利益	2億円	40億円	△38億円
達成 コアOHR	75.47%	79.95%	△4.48%
達成 預金平残	24,325億円	24,020億円	+304億円
達成 貸出平残	18,044億円	17,955億円	+89億円
自己資本比率	8.29%	8.35%	△0.06%
達成 顧客向け サービス業務利益 (2018.3比増加額)	4億円 (+33億円)	1億円 (+29億円)	3億円 (+3億円)

※顧客向けサービス利益＝貸出残高×預貸金利回り差＋役務取引等利益－営業経費

＜達成水準項目の要因＞

- コアOHRは、資金利益の増加や経費の削減等により、計画達成水準となりました。
- 中小企業融資を中心に貸出金平残が増加。法人・個人の預金増加により預金平残も計画達成水準となりました。
- 貸出金の増加に加えて経費が減少し、顧客向けサービス業務利益が達成水準となりました。

＜未達水準項目の要因＞

- 信用コストの増加等に加え、有価証券運用見直しに伴う法人税等調整額の計上により、当期純利益は計画と乖離がある状況。
- 自己資本比率は、前期比で0.05ポイント改善したものの、貸出金増加に伴うリスクアセット（分母）の増加等により達成水準に至りませんでした。





グループの取り組みを
HPへ開示しています！
※今期、新たに31事例公表

じもとグループは、「本業支援」を通じて地元中小企業の成長を支援し、地元経済の発展、地方創生に貢献することを目指しています。私たちは、「本業支援」そのものがESG・SDGsの理念に合致するものと考え、これからもグループ一丸となり取り組んでまいります。

主な取り組み

2020年度の取り組みから

Environment 環境



- 第一勧業信用組合と地方創生に関する協定締結
- 令和元年台風等被害広域復興ファンドへの出資
- 湯野浜地区CO2削減事業（温泉熱利用）への参加
- 「きらやか社会貢献私募債」（CSR活動や環境に配慮した企業等に発行）
- まちづくり・震災復興活動への助成（公益信託「仙台銀行まちづくり基金」）
- ペーパーレス化推進（会議資料、行内帳票の電子化等）

Social 社会



- 上市市産業団地への企業誘致
- 旧店舗の寄贈「空き店舗の有効活用」（きらやかの旧漆山支店、仙台の旧丸森支店）
- (株)IBJとの業務提携先による「事業承継に向けた婚活支援」の取り組み
- 「子ども支援」定期預金による寄贈
- 業務提携による外国人技能実習生受入サポート
- 「障害者雇用優良事業所」表彰【きらやか】
- 「いきいき男女・にこにこ子育て応援企業」最優秀賞受賞、「ブラチナくるみん」認定、「みやぎ働き方改革実践企業」認定

Governance ガバナンス



- HD、子銀行の監査等委員化設置会社移行
 - グループ経営態勢の見直し（コーポレートガバナンス・コードへの対応等）
 - 本部組織の統一・再編
 - リスク管理態勢の強化
 - 「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に係る基本方針」の制定
- ⇒ CDDシステム（顧客格付システム）導入

地元中小企業の成長

地域経済の発展

地方創生

持続可能な社会の実現



＜きらやか銀行＞ 子ども支援定期に続き第二弾 「子ども支援」私募債の取扱

きらやか銀行が私募債発行企業様から受け取る手数料の一部を優遇。その優遇部分を原資に、発行企業様が、地域教育関連機関等に対し、新型コロナウイルス感染症の予防・対策等に向けた「新しい生活様式」に資する寄付・寄贈を行います。2020年度上期に3先受託。山形県内の小中学校、保育園へ不織布マスク、接触感染対策テープ、飛沫防止パネルが寄贈される予定です。



＜仙台銀行＞ 国内有数規模 メガソーラーシェアリング事業への支援

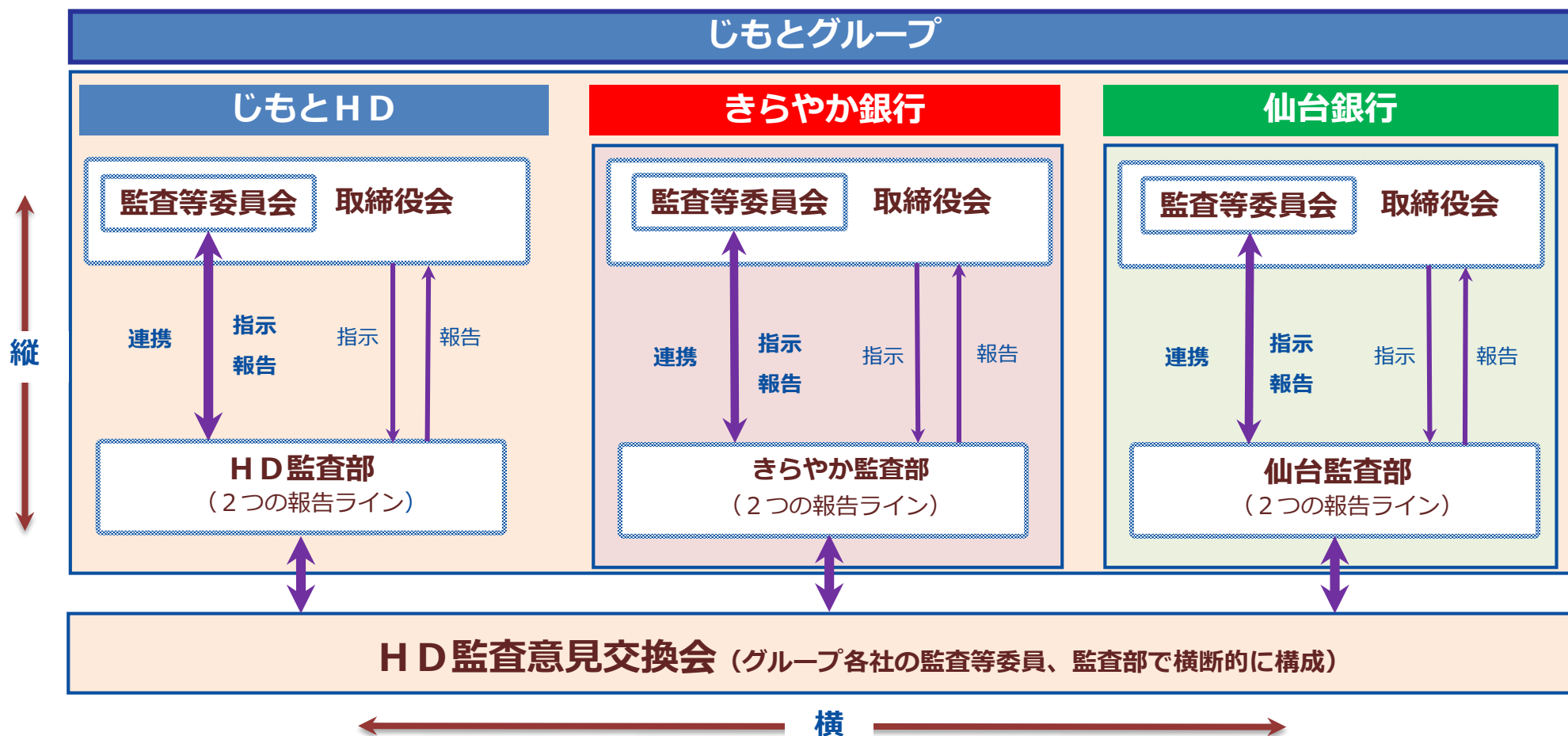
大崎エナジー有限責任事業組合に対し、宮城県大崎市の農地を有効活用し、太陽光発電事業と牧草栽培を両立させる、総額26.4億円のメガソーラーシェアリング事業へファイナンスを実施しました。宮城県を牽引する地元有力企業連合で構成した約10メガワットの事業体へ、地域金融機関が単独ファイナンスする全国的にも稀な事例で、「オールじもと宮城」での取り組みとなりました。

2020年6月、きらやか銀行と仙台銀行が監査等委員会設置会社へ移行。グループのガバナンス体制を強化しました。

- H D 監査等委員会は、子銀行を含めたグループ全体の内部管理体制の監視・監督をさらに強化します。

縦軸：各社の監査等委員会と監査部とのレポートラインを共通で確保。

横軸：H D 監査意見交換会を新設し、各社の監査等委員会と監査部の連携を深化。



5. SBIホールディングス株式会社との 資本業務提携について

2020年11月20日公表

資本業務提携の目的

当社を取り巻く環境

人口減少や少子高齢化、地域経済の縮小
デジタイゼーションの急速な広まり

コロナ禍の地元宮城・山形
中小企業へのお客さまへ甚大な影響

地域社会の発展に貢献するためには、銀行業のみならず、厳しい経営環境を乗り越える様々な術を持つ企業との連携を強化することが重要

**～ S B I グループが有する商品・サービス・ノウハウなどを最大限活用。
競争力・収益力を高め、企業価値の向上を図る ～**

- ◆ S B I ホールディングスは、銀行業のみならず、様々な業種を傘下に収め、多様化する金融環境を乗り越えるためのIT・FinTech技術を活用した様々なコンテンツを持った企業であり、連携強化を図ることが重要であると判断。
- ◆ 既に当社グループと同社の間では共同店舗の運営、各種ファンドへの投資など、出資関係、資金関係、技術関係、取引関係において幅広い連携実績も有しており、最適なパートナー。

資本業務提携の概要

資本業務提携先	SBIホールディングス 株式会社
株式発行方法	SBI地銀ホールディングス 株式会社 への 第三者割当増資
株式発行数	普通株式 3,653,500 株
株式発行価額	1株につき958円（総額約 35億円）
割当後の議決権比率	17.34%
手取金の使途	全額を子銀行であるきらやか銀行、仙台銀行に対して出資。 子銀行から地元企業への貸出金を追加供給。
提携内容	当社グループの経営方針である「本業支援」(経営改善や事業再生支援等)のため、 財務健全性の維持・向上を図るとともに、SBIグループが有する商品・サービス・ ノウハウなどを最大限活用する
社外取締役等の受入れ	社外取締役 1名（2021年6月開催の当社定時株主総会に選任議案を上程予定） オブザーバー 2名（主要会議に出席。議決権なし）

<スケジュール>

取締役会決議日	2020年11月20日
提携契約締結日	2020年11月20日
払込期間	2020年12月6日～2021年3月31日（予定）

S B I ホールディングス株式会社の概要

代 表 者	代表取締役社長CEO 北尾 吉孝
本 店 所 在 地	東京都港区六本木一丁目6番1号
事 業 内 容	株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等
設 立	1999年7月8日
資 本 金	973億49百万円（2020年9月30日現在）

割当予定先の概要

社 名	S B I 地銀ホールディングス株式会社
代 表 者	代表取締役社長 森田 俊平
本 店 所 在 地	東京都港区六本木一丁目6番1号
株 主	S B I ホールディングス株式会社 100%
事 業 内 容	株式等の保有
設 立	2015年8月25日
資 本 金	22億1百万円（2020年9月30日現在）

SBIグループとの主な連携実績

	きらやか	提携日 (出資日)	仙 台	提携日 (出資日)
金融商品仲介業の提携	●	2018年4月	●	2018年4月
有価証券ポートフォリオ見直しに係る連携	＊	提携後に開始	●	2020年3月
S B I マネープラザとの共同店舗の運営	●	2019年10月	●	2018年11月
S B I プロセスイノベーターとのコスト削減プロジェクト	●	2019年5月	●	2019年5月
S B I AI&Blockchain投資事業 有限責任組合への出資	●	2018年1月	●	2018年1月
S B I 地方創生アセットマネジント 株式会社への出資	—	—	●	2018年4月
マネータップ株式会社への出資	—	—	●	2019年8月
S B I 4 + 5 ファンドへの出資	—	—	●	2020年4月

今後の業務提携について

**地元企業への本業支援
地方創生・地域経済の活性化**

- ビジネスマッチング
- 事業承継支援・M & A

じもとグループ中核的戦略



**経営基盤の強化
地元企業への本業支援の深化**

資産運用の高度化

SBIグループアセット
マネジメント事業への
運用資産の委託を通じ、
銀行の収益力強化

次世代システムの導入

- SBIグループが提供する
FinTech新規技術の導入
 - コスト削減
- <新たなサービス提供>**

**共同ファンドを通じた
地元企業支援**

共同ファンド等を通じた
資本性資金および
資本性ローンの提供等

**金融商品仲介
サービス強化**

SBI マネープラザとの
共同店舗やSBI証券等
との提携拡大



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス
総 合 企 画 部

TEL : 022-722-0011 (代表)
<https://www.jimoto-hd.co.jp>